

2022（令和4）年度東北大学法科大学院入学試験 一般選抜（後期）
試験科目：民事法（民法）

以下の【第1問】から【第3問】までのすべての問いに答えなさい。

【第1問】（解答は25行程度で行いなさい。）

Aは、その所有する甲土地をBに売却し、その引渡しをした。ところが、Bへの所有権移転登記はされないでいた。ある日、AがBに甲土地を売却済みであることを知るCが、Aに対して、甲土地をBに対する売値の1.5倍の値段で買い受けたいと申し出たため、Aは、Cに甲土地を売却し、Cへの所有権移転登記がされた。以上の場合において、(1)Bは、Cに対して、Aからの所有権の取得を対抗することができるか。仮にこれができないとして、(2)Bは、AとCに対して金銭の支払を請求することができるか。(1)と(2)の両方について、論じなさい。

【第2問】（解答は8行程度で行いなさい。）

種類債権において特定が生じるための要件と特定の効果について説明しなさい。

【第3問】（解答は5行程度で行いなさい。）

不法行為責任の成立が認められる場合に問題となる「過失相殺」と「損益相殺」とは何か、その共通する点と相違する点に触れつつ、説明しなさい。